

替えた

註四

たとえば単にガロンといつても米国ガロンは三・七八五三二リットルだが英國ガロンは四・五四五九六三二リットルと全然違つたものである

また米国のトンメートル法で〇・九〇七一八四八六トン・英國のトンは一・

〇一六〇四七〇トンとなる

なおアメリカのポンドにも二種類ある

このように比較してみますと一番すぐれている計量単位はメートル法であり、これに統一しなければならぬと御考へになるでしょう。

わが国はこの最もすぐれたメートル法に統一することに長い間努力してまいりましたが、いよいよ、来年一月一日から統一されることになつたわけですから

五、メートル法に統一した場合の利益

メートル法に統一した場合の利益につきましては今まで申し述べたこととで充分おわかりのことと思ひますが、更に数例をあげてみましょう。

(イ) 売買や日常生活が簡易化され合理的になる

備えつける計量器がメートル系だけのものでもよく又売買もメートル系だけで比較や換算の手数が省けるので、商店側も又消費者側も経済的かつ煩雜さがなくなり能率的、合理的な売買が行われます

又新聞ラジオの報送等に使用される計量単位もメートル法一本になるため換算してから量の觀念をつかむ等の煩雜さがなくなり非常に助かります

(ロ) 学校教育が能率化する

現在の学校教育はすべてメートル法によつて行われていますが、一般社会で尺貫法、ヤードポンド法が使われているため、高学年になると、それ等の単位や換算の方法等を教えております。そのために貴重な時間と

労力を労費しておりますが、メートル法に統一されるとこれ等の無駄なことがなくなり、他の大切な学科の教育に力をそぐことができ、又児童、生徒も無駄な負担がなくなり、それだけ他の学科に力を入れることができま

(ハ) 産業、経済の発展に役立つ

物の製造においても最も使いやすい、合理的なメートル法に統一されますと、機械設備なども一系統のもので済み、又製品そのものも規格化しやすく、経済的な生産が行われるし、製品の流通面でも非常に簡易化されて迅速に処理できるようになります。

このほか、學術、科學、文化の向上発展にもいろ／＼と役立つのであります

六、メートル法に慣れるには

「われ／＼のような古い者にはメートル法なんてわからない」ということをよく耳にしますが、これは考え違いもはなはだしいと思ひます。

使つてみもしないでだめだと始めから考へていたのではいつまでたつてもおぼえられませせん

ではメートル法になれるにはどうしたらよいでしょうか、それには

(イ) 目分量、手分量で量の觀念をつかむこと

皆様にはお味噌一貫目或はお醤油一升といへば「このくらいあるな」ということがすぐピンとくるでしょう、これと同様でお味噌一キログラム、或はお醤油二リットル、又は一メートルの洋服地等を手で持つたり目で見たりして実際にその量を入れたことが必要です

(ロ) 換算ということはしないこと

私達は一メートルは何尺になるとか、六〇キログラムは一六貫とか、すぐ換算するくせがついております